

事業シート(令和3年度決算)

事業名	41500 生活環境保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	保健衛生費		根拠計画		環境基本計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	5	生活環境費					
担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2172							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な生活環境を確保する。</li> <li>公害の発生防止、公害が発生した場合の被害の最小化を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。</li> <li>騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査を随時実施する。</li> <li>騒音の定期観測調査を実施する。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,485	3,258	6,535	11,535	10,591	7,333
特定財源	国費( )						
	県費( 県移譲事務交付金、公害委任事務費 )	284	355	269	269	329	△ 26
	その他( )						
一般財源		3,201	2,903	6,266	11,266	10,262	7,359
個票枝番	主な事業内容						
	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発	570	661	560	560	470	△ 191
	河川水質の定期調査	1,100	1,034	1,100	1,100	1,034	0
	公害防止のための悪臭水質立ち入り調査	500	399	500	500	303	△ 96
	土壌中放射性物質調査	710	778	710	710	779	1
	快適環境づくり市民会議	320	105	320	320	261	156
	自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価(5年毎)			3,000	3,000	1,573	1,573
	マイマイガの卵塊駆除			0	5,000	5,891	5,891

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		3,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,459	3,155	3,155	△ 3,380	
329	283	283	14	
3,130	2,872	2,872	△ 3,394	
査定額	説明			
180				
1,100				
500				
320				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(58事案)と騒音の観測調査を実施した。(3か所)</li> <li>水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発を行った。</li> <li>高山市快適環境づくり市民会議の活動を推進した。(フリーマーケット(1回)、クリーン作戦(1回)の実施)</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。</li> <li>大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。</li> <li>長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。</li> </ul>	

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(50事案)と騒音の観測調査を実施した。(3か所)</li> <li>5年に1度実施する自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価を実施した。(2か所)</li> <li>水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発を行った。</li> <li>高山市快適環境づくり市民会議の活動を推進した。(グリーンマーケット(1回)、クリーン作戦(2回)の実施)</li> <li>マイマイガの発生が確認されたため、市有施設の高所に付着した卵塊の駆除を実施した。(45施設に付着した11,585個の卵塊を駆除)</li> <li>ごみの減量化(特にプラ製品削減及び食品ロス削減)に向けた具体的な施策を検討するため、快適環境づくり市民会議の中に「ごみ減量化部会」を設置し、施策検討を進めた。(4回開催)</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。</li> <li>大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。</li> <li>長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>快適環境づくり市民会議の開催やポイ捨て、路上喫煙禁止の啓発による快適環境の保全に必要な経費を計上</li> <li>河川水質や放射線物質等の監視に必要な経費を計上</li> <li>公害発生防止のための悪臭や水質汚濁の立ち入り調査に必要な経費を計上</li> <li>グリーンマーケット等の開催に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおり



事業シート(令和3年度決算)

事業名	42240 資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	2	清掃費		根拠計画				環境基本計画、ごみ処理基本計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	塵芥処理費						
担当課	環境政策部 生活環境課 ごみ処理場建設推進課	内線	2960								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化を図る。</li> <li>排出された粗大ごみ等を再使用し、ごみの減量化を図る。</li> <li>資源の循環により循環型社会の形成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置に対し補助する。</li> <li>粗大ごみ等のリフォーム及びびりフォーム製品フェアを開催する。</li> <li>ごみの出し方と分別及び資源化の啓発並びに資源ごみの集団回収の奨励を行う。</li> <li>資源ごみの収集運搬選別及び施設の適正な稼働を行う。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
家庭系ごみの資源化率	27%	28%	30%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	186,788	182,996	208,313	208,133	189,829	6,833	
特定財源							
国費(災害等廃棄物処理事業費補助金1/2)		131				△ 131	
県費(産業廃棄物立入検査事業費)	10	0	10	10	1	1	
その他(物品売払収入等)	12,600	24,900	13,000	13,000	45,689	20,789	
一般財源	174,178	157,965	195,303	195,123	144,139	△ 13,826	
個票枝番	主な事業内容						
	資源回収団体奨励金	7,229	4,027	8,000	7,978	3,368	△ 659
	資源リサイクルセンター施設の維持管理	15,270	14,298	14,493	14,492	13,705	△ 593
	廃棄物資源化の委託	159,700	160,416	181,220	181,220	168,620	8,204
	不用品リフォーム	3,900	3,567	3,900	3,900	3,593	26
	家庭用生ごみ堆肥化装置設置に対する助成	689	688	700	543	543	△ 145

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	174,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
204,786	203,943	203,943	△ 4,370
7	10	10	0
15,558	13,600	23,600	10,600
189,221	190,333	180,333	△ 14,970
査定額	説明		
8,000			
24,413			
166,900			
3,900			
700			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置補助金を35件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施した。</li> <li>リフォーム製品フェアを13回(支所開催含む)開催し、273個を販売した。</li> <li>小型家電を収集し、処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)で受け入れた。(363台)</li> <li>資源回収事業での奨励金を69団体に交付した。</li> <li>収集したごみを選別・圧縮・減容等により資源化するとともに、拠点集積所を適正に管理した。(51日開設)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により、PTAや市民団体による集団資源回収の回収量が減少した。</li> <li>びん等の容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源ごみの量は維持されている。</li> <li>リフォーム製品フェアの開催は高山地域及び支所地域で行っており、一定の周知が図られているが、新型コロナウイルスの影響により、開催回数が減少した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化や資源化推進のため、家庭における生ごみ処理の促進、資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。</li> <li>不燃ごみから鉄類などを選別し、資源物回収に努める。</li> <li>民間企業による資源物回収量の把握に努める。</li> <li>市内全域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を感染対策に配慮しながら継続して実施する。</li> <li>プラスチック製容器包装や紙製容器包装等資源ごみの分別徹底を周知する。</li> </ul>

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置補助金を41件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施した。</li> <li>リフォーム製品フェアを18回(支所開催含む)開催し、273個を販売した。</li> <li>小型家電を収集し、処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)で受け入れた。(368台)</li> <li>資源回収事業での奨励金を70団体に交付した。</li> <li>収集したごみを選別・圧縮・減容等により資源化するとともに、拠点集積所を適正に管理した。(51日開設)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により、PTAや市民団体による集団資源回収の回収量が減少した。</li> <li>びん等の容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源ごみの量は維持されている。</li> <li>リフォーム製品フェアの開催は、高山地域及び支所地域で行っており一定の周知が図られているが、新型コロナウイルスの影響により3回中止した。(21回開催を計画していたが18回の開催となった)</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化や資源化推進のため、家庭における生ごみ処理の促進、資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。</li> <li>不燃ごみから鉄類などを選別し、資源物回収に努める。</li> <li>民間企業による資源物回収量の把握に努める。</li> <li>市内全域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を感染対策に配慮しながら継続して実施する。</li> <li>プラスチック製容器包装や紙製容器包装等資源ごみの分別徹底を周知する。</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ減量化及び資源化の推進に必要な経費を計上</li> <li>資源ごみの適正な収集、選別作業に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに